



FPolicy ポリシーの設定を計画します

ONTAP 9

NetApp
April 24, 2024

目次

FPolicy ポリシーの設定を計画します	1
FPolicy ポリシーの設定の概要を計画	1
FPolicy ポリシーで標準のエンジンを使用する場合の FPolicy スコープ設定の要件	7
FPolicy ポリシーのワークシートに記入	7

FPolicy ポリシーの設定を計画します

FPolicy ポリシーの設定の概要を計画

FPolicy ポリシーを設定する前に、ポリシーの作成時に必要なパラメータや、特定のオプションパラメータを設定する理由について理解しておく必要があります。この情報は、各パラメータに設定する値を決定するのに役立ちます。

FPolicy ポリシーを作成する際には、このポリシーと次のポリシーを関連付けます。


- Storage Virtual Machine （ SVM ）
- 1 つ以上の FPolicy イベント
- FPolicy 外部エンジン

いくつかのオプションポリシー設定を構成することもできます。

FPolicy ポリシーの設定項目

FPolicy ポリシーで使用できる必須パラメータとオプションパラメータを次に示します。これは設定について計画するときに役立ちます。

情報のタイプ	オプション	必須	デフォルト
SVM 名 _ FPolicy ポリシーを作成する SVM の名前を指定します。	-vserver vserver_name	はい。	なし

<p>_ ポリシー名 _</p> <p>FPolicy ポリシーの名前を指定します。</p> <p>この名前に指定できる文字数は最大 256 文字です。</p> <div data-bbox="167 417 220 474">  </div> <div data-bbox="282 363 623 531"> <p>MetroCluster または SVM ディザスタリカバリ設定で ポリシーを設定する場合、 この名前は最大 200 文字に する必要があります。</p> </div> <p>名前には、次の ASCII 文字の任意の組み 合わせを含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • a から z • A から Z • 0 から 9 • 「_」、 「-」、 and “.” 	<p>-policy-name policy_name</p>	<p>はい。</p>	<p>なし</p>
<p>_ イベント名 _</p> <p>FPolicy ポリシーに関連付けるイベントを カンマ区切りのリストで指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つのポリシーに複数のイベントを関 連付けることができます。 • イベントはプロトコルに固有です。 • 1 つのポリシーで複数のプロトコルの ファイルアクセスイベントを監視する には、ポリシーで監視する各プロトコ ルのイベントを作成し、それらのイベ ントをポリシーに関連付けます。 • 既存のイベントを指定する必要があり ます。 	<p>-events `event_name`はい。</p>	<p>はい。</p>	<p>なし</p>

<p><u>外部エンジン名</u></p> <p>FPolicy ポリシーに関連付ける外部エンジンの名前を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部エンジンには、ノードから FPolicy サーバに通知を送信するための必要な情報が格納されています。 単純なファイルブロッキングを行うために ONTAP の標準の外部エンジンを使用したり、より高度なファイルブロッキングとファイル管理を行うために外部 FPolicy サーバ（FPolicy サーバ）を使用するように設定された外部エンジンを使用したりするように FPolicy を設定できます。 標準の外部エンジンを使用する場合は、このパラメータの値を指定しないか、を指定できます native を値として入力します。 FPolicy サーバを使用する場合は、外部エンジンの設定がすでに存在している必要があります。 	<p>-engine engine_name</p>	<p>○（ポリシーで内部の ONTAP 標準エンジンを使用しない場合）</p>	<p>native</p>
<p><u>は必須のスクリーニングです</u></p> <p>必須のファイルアクセススクリーニングを要求するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必須のスクリーニング設定は、プライマリサーバとセカンダリサーバがすべて停止した場合や、指定した時間内に FPolicy サーバからの応答を得られない場合に、ファイルアクセスイベントをどのように処理するかを決定します。 に設定すると `true` に設定すると、ファイルアクセスイベントが拒否されます。 に設定すると `false` に設定すると、ファイルアクセスイベントが許可されます。 	<p>-is-mandatory {true</p>	<p>false}</p>	<p>いいえ</p>

<p>true</p>	<p>権限付きアクセスを許可する _</p> <p>権限付きデータ接続による監視対象のファイルやフォルダに対する権限付きアクセスを FPolicy サーバに許可するかどうかを指定します。</p> <p>設定されている場合、FPolicy サーバは権限付きデータ接続を使用して、監視対象データが格納されている SVM のルートにあるファイルにアクセスできます。</p> <p>権限付きデータアクセスの場合は、クラスタでSMBのライセンスが有効になっていて、FPolicyサーバへの接続に使用されるすべてのデータLIFがに設定されている必要があります。cifs 許可されているプロトコルの1つとして指定します。</p> <p>ポリシーで権限付きアクセスを許可する場合は、FPolicy サーバで権限付きアクセスに使用するアカウントのユーザ名も指定する必要があります。</p>	<p>-allow -privileged -access {yes</p>	<p>no}</p>
-------------	---	--	------------

No (パススルーリードが有効になっていない場合)	no	<p>_ 特権ユーザ名 _</p> <p>FPolicy サーバが権限付きデータアクセスで使用するアカウントのユーザ名を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このパラメータの値は、「ドメイン\ユーザ名」の形式にする必要があります。 • 状況 -allow -privileged -access がに設定されます`no`を指定すると、このパラメータに設定された値は無視されます。 	<p>-privileged -user-name user_name</p>
---------------------------	----	--	---

<p>No（権限付きアクセスが有効になっていない場合）</p>	<p>なし</p>	<p><code>_allow passthrough-read _</code></p> <p>FPolicy サーバによってセカンダリストレージ（オフラインファイル）にアーカイブされているファイルを対象としたパススルーリードサービスを FPolicy サーバが提供できるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> パススルーリードは、オフラインファイルのデータをプライマリストレージにリストアすることなく読み取るための手段です。 <p>パススルーリードでは、読み取り要求に応答する前にファイルをプライマリストレージにリコールする必要がないため、応答遅延が短縮されます。また、パススルーリードでは、読み取り要求を満たすためだけにリコールされるファイルによってストレージ領域を浪費する必要がなくなるため、ストレージ効率が最適化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効になっている場合、FPolicy サーバはパススルーリード専用に開かれている別の権限付きデータチャンネルを使用してファイルにデータを提供します。 	<pre>-is-passthrough -read-enabled {true</pre>
---------------------------------	-----------	---	--

FPolicy ポリシーで標準のエンジンを使用する場合の FPolicy スコープ設定の要件

標準のエンジンを使用するように FPolicy ポリシーを設定する場合は、ポリシーで設定される FPolicy スコープの定義方法に関して特定の要件があります。

FPolicy スコープは、FPolicy 環境で指定されたボリュームや共有など、FPolicy ポリシーが適用される範囲の境界を定義します。FPolicy ポリシーが適用されるスコープをさらに制限するためのパラメータが多数あります。次のいずれかのパラメータ `-is-file-extension-check-on-directories-enabled` では、ディレクトリのファイル拡張子をチェックするかどうかを指定します。デフォルト値は `false` これは、ディレクトリ上のファイル拡張子はチェックされないことを意味します。

標準のエンジンを使用する FPolicy ポリシーが共有またはボリュームおよびで有効になっている場合 `-is-file-extension-check-on-directories-enabled` パラメータはに設定されます `false` ポリシーのスコープでは、ディレクトリへのアクセスは拒否されます。この設定では、ディレクトリのファイル拡張子はチェックされないため、ポリシーのスコープ下にあるディレクトリ操作はすべて拒否されます。

標準のエンジンを使用している場合にディレクトリへのアクセスを成功させるには、を設定する必要があります `-is-file-extension-check-on-directories-enabled` parameter 終了: `true` 有効範囲の作成時。

(このパラメータはに設定されています) `true` では、ディレクトリ操作に対して拡張子のチェックが実行され、アクセスを許可するか拒否するかは、FPolicy スコープ設定に含まれている拡張子または除外されている拡張子に基づいて決定されます。

FPolicy ポリシーのワークシートに記入

このワークシートを使用して、FPolicy ポリシー設定プロセス中に必要となる値を記録できます。FPolicy ポリシーの設定に各パラメータ設定を含めるかどうかを記録し、含めるパラメータの値を記録しておく必要があります。

情報のタイプ	含める	値を入力します
Storage Virtual Machine （SVM）名	はい。	
ポリシー名	はい。	
イベント名	はい。	
外部エンジンの名前		
スクリーニングを必須にするかどうか		
権限付きアクセスを許可します		
権限を持つユーザの名前		

パススルーリードが有効かどうか		
-----------------	--	--

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。